

令和3年 第4回定例会

一般質問文書表

稲城市議会

通告番号	氏名	質問項目 (19人、61項目)	備考
1	北浜 けんいち	1 市内飲食店のコロナ感染防止対策とアフターコロナの対応について 2 若者の新型コロナワクチン接種促進について	
2	山岸 太一	1 社会全体で高齢者の暮らしを支える介護保険制度の実現に向けて 2 必要な人が利用できる学童クラブの定員増について 3 感染症から子どもたちを守るための保育所等における感染拡大防止の取り組みについて 4 資源ごみ集団回収補助金制度の維持継続について 5 新たな道路整備に伴う交通安全対策の実施について	
3	つ の じ 寛 美	1 稲城ロケーションサービスにおける撮影時の調整について 2 医療的ケア児の更なる支援について 3 風水害における動物の同行避難について 4 産後ケア事業の更なる充実について	
4	市瀬 ひさ子	1 ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種について 2 稲城市立病院における、患者に寄り添う体制の強化について 3 市内の交通安全対策について 4 子どもの発達支援の取り組みについて	
5	佐藤 しんじ	1 飼い主のいない猫を守るための活動について 2 総合的な水害対策の推進について	
6	角田 政信	1 矢野口地区のまちづくりについて	
7	岩佐 ゆきひろ	1 南山リハビリテーション病院について 2 小中学校のコロナ禍の対応について 3 タブレット端末を利用したいじめ問題の対策について 4 3回目のワクチン接種について	
8	川村 あや	1 南多摩駅周辺の活性化と利便性向上および交通安全対策について 2 市内小中学校の学習端末利用状況およびトラブル回避について	
9	坂田 たけふみ	1 稲城ロケーションサービスにおけるロケ地誘致と観光活用について 2 市有地の有効活用について	
10	岡田 まなぶ	1 新型コロナ対策―第6波への備えと市民の生命とくらしを守る取り組みについて 2 補聴器助成など高齢期の聞こえの支援について 3 不登校の子どもへの学びの保障について 4 子どもの医療費無料化の拡充について 5 高齢者理美容割引券の利用促進について	
11	梶浦 みさこ	1 稲城市立小中学校の児童生徒の防災頭巾・防災ヘルメットについて 2 女性や児童生徒の自殺予防対策の強化について 3 稲城市議会議員選挙の「立候補者の告示(掲載)事項等範囲の限定・縮小」による立候補環境の整備と「住所要件を満たさない者の立候補の抑制」について	
12	鈴木 誠	1 防災・防犯に関する稲城市の取り組みについて 2 稲城市の財産管理及び処分、活用について 3 稲城市への外国人転入状況について 4 稲城第二中学校の校舎並びに周辺環境の整備・改善について	

13	中 田 中	<ul style="list-style-type: none"> 1 稲城市におけるウォークアブル推進都市の取り組みについて 2 避難所運営における資機材の整備状況について 3 若葉台公園のキッチンカー出店について 	
14	あ ら い 健	<ul style="list-style-type: none"> 1 稲城市における市民のデジタルの活用状況とデジタル格差に対する稲城市としての認識と対応について 2 この間の行政運営について 3 第2次観光基本計画について 4 ますますひどくなる平尾中央どおりの交通渋滞に対する稲城市の取り組みについて 	
15	武田 まさひと	<ul style="list-style-type: none"> 1 南山東部土地区画整理事業と周辺のまちづくりについて 2 マイナンバーカードについて 	
16	村 上 洋 子	<ul style="list-style-type: none"> 1 ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンと子宮頸がん検診について 2 子どもの命を守る取り組みについて 3 危険なブロック塀等の改修について 	
17	田 島 きく子	<ul style="list-style-type: none"> 1 気候変動について 2 多摩川の水害対策と災害時の避難対策について 3 中島地区の通学路の安全対策について 4 多摩サービス補助施設の市民利用と返還について 	
18	いそむらあきこ	<ul style="list-style-type: none"> 1 利用者目線の公園整備と市民参画による公園づくりについて 2 切れ目のない若者支援について 3 多摩川サイクリングロードの安全対策について 4 学童クラブの待機児童対策について 	
19	榎 本 久 春	<ul style="list-style-type: none"> 1 市内公園内のベンチや東屋、トイレなど遊具以外の設備の必要性について 2 コロナ禍で結婚を先に延ばされてきた方々を応援する取り組みについて 3 高齢者の運転に対する事故防止について 	

通告番号	会 派 名	氏 名
1	新政会	北浜けんいち

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>市内飲食店のコロナ感染防止対策とアフターコロナの対応について</p> <p>東京都における新型コロナ「リバウンド防止措置期間」が10月24日に期限を迎え、都は感染防止対策を講じている、認証飲食店への営業時間短縮や酒類の提供制限が解除されました。</p> <p>そこで、市内飲食店舗の「東京都感染拡大防止徹底宣言登録店舗」の状況、及び「コロナ対策リーダー・徹底点検済証発行店舗」の状況について伺います。</p> <p>また、TOKYO ワクシオンアプリの活用について見解を伺います。</p> <p>(1) 東京都感染拡大防止徹底宣言登録店の状況について</p> <p>(2) コロナ対策リーダー・徹底点検済証発行店舗の状況について</p> <p>(3) TOKYO ワクシオンアプリの活用について</p> <p>(4) 市民への周知について</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
2	日本共産党	山岸太一

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>社会全体で高齢者の暮らしを支える介護保険制度の実現に向けて</p> <p>東京都が5年毎に行っている「高齢者の生活実態」調査の結果が明らかになりました。「介護の社会化」という介護保険制度の理念の実現のために、市としてもこれらの調査結果を検証、反映させていくことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 令和2年度東京都福祉保健基礎調査「高齢者の生活実態」について</p> <p>①同調査の結果概要の「第4章-2-(2)介護の状況」の内容について聞きます。</p> <p>②同調査の結果概要の「第6章-2 介護が必要になったときの高齢期の住まい」の内容について聞きます。</p> <p>③同調査の結果概要の「第11-1 高齢者に対する必要な施策や支援」の内容について聞きます。</p> <p>④今回の調査結果は、今後の稲城市の介護保険事業にも反映をさせていくべきではないかと考えるが認識を聞きます。</p>	
2	<p>必要な人が利用できる学童クラブの定員増について</p> <p>利用資格があるのに学童を利用できないことに対して解決を求める保護者の声が多数寄せられています。他市の事例も参考にしながら、様々な工夫による受け入れ枠拡大を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 稲城市の学童クラブの現状について</p> <p>①市内の学童クラブにおいて、学校内設置と学校敷地外設置の施設の役割や入所要件等の違いについて聞きます。</p> <p>②市内の学童クラブ毎の児童1人あたりの専用面積の値について聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>(2) 待機児解消のための取り組みについて</p> <p>① 特別教室等の学校施設を臨時的に学童として活用することについて、これまでの取り組み状況を聞きます。</p> <p>② 「安心して働くためにも学童を利用させてほしい」という保護者の切実な声をしっかりと聴く必要があると考えるが認識を聞きます。</p> <p>感染症から子どもたちを守るための保育所等における感染拡大防止の取り組みについて 新型コロナ感染症の第5波は収束をしましたが、第6波について警鐘が發せられています。子どもたちが集まる保育所等において、感染拡大を防ぐために保育園と市による連携強化を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 緊急事態宣言下の保育所等のあり方について</p> <p>① 緊急事態宣言中の保育所等の開所閉所および児童の登園休園についての市としての考え方を聞きます。</p> <p>② 家族や児童本人が濃厚接触者およびその疑いがあるとなった際の登園休園についての市としての判断基準について聞きます。</p> <p>③ 緊急事態宣言下において感染拡大を防ぐため、市内の各保育園と市が連携しながら対策を取っていくことが必要であると考えるが認識を聞きます。</p> <p>(2) クラスター発生時の対応について</p> <p>① クラスターが発生した際の保育園関係者、児童、保護者への市としてのサポートやフォロー体制について聞きます。</p> <p>② クラスターが発生した際の情報の公表基準について聞きます。</p> <p>③ クラスター終息後も安心して保育が実施できるように、保育園と市が連携しながら対策を取っていくことが必要であると考えるが認識を聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>資源ごみ集団回収補助金制度の維持継続について</p> <p>この間、議会質問でも取り上げられているように古紙単価の低下により資源ごみ回収に苦勞しているという声が出されています。大事な制度である集団回収補助金制度を今後も維持継続していくことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 制度の目的・役割について聞きます。</p> <p>(2) 補助事業については引き続き維持継続をしていくことが必要であると考えが認識を聞きます。</p>	
5	<p>新たな道路整備に伴う交通安全対策の実施について</p> <p>市街地開発や区画整理事業の進展により新たな道路整備がされていますが、それに伴って様々な課題も発生しています。事故が起きる前に対策を取っていくことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 稲城第三中学校南交差点の信号設置について</p> <p>① 信号設置の理由について聞きます。</p> <p>② 信号設置後の交通状況の変化について聞きます。</p> <p>(2) 多3・4・12号読売ランド線について</p> <p>① ルート変更後の交通状況の変化について聞きます。</p> <p>② 読売ランド等のイベント開催時の渋滞対策について聞きます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
3	公 明 党	つ の じ 寛 美

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>稲城ロケーションサービスにおける撮影時の調整について</p> <p>稲城市ロケーションサービスは稲城市内で行われる映画、テレビドラマ等の円滑なロケ撮影を支援し、美しい自然景観、歴史、文化、街並みなど稲城市の魅力映像を通じてより多くの人々に発信することにより、観光の振興、地域振興ならびに地域経済の活性化を推進する事業だと認識致します。そして、地域住民のご協力なくして事業活動はあり得ないと考えます。</p> <p>(1)現状について伺う。</p> <p>(2)課題について伺う。</p> <p>(3)今後の取り組みについて伺う。</p>	
2	<p>医療的ケア児の更なる支援について</p> <p>「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が令和3年6月に公布され、令和3年9月から施行されたところです。医療技術の進捗に伴い医療的ケア児が増加しています。医療的ケア児及びその家族が個々の医療的ケア児の心身の状況等に応じた適切な支援が受けられるようにすることが重要な課題となっています。医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに、その家族の離職防止に資し、安心して子どもを産み育てることが出来る社会の実現に寄与することを目的として、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>し、基本理念を定め、国や地方公共団体等の責務を明らかにするとともに、保育及び教育現場での受入体制拡充に係る施策等について定められています。公明党は、国会議員と地方議員のネットワークを駆使し、医療的ケア児及びその家族の切実な声に耳を傾け、支援体制の充実に取り組んできました。この法律の施行に伴い、保育園、学童クラブ、及び市立小中学校等では受入体制等を整備することが必要であると思われます。</p> <p>(1)現状の受入体制について伺う。</p> <p>①保育園等について伺う。</p> <p>②学童クラブについて伺う。</p> <p>③市立小中学校について伺う。</p> <p>(2)課題と今後の取り組みについて</p> <p>①保育園等について伺う。</p> <p>②学童クラブについて伺う。</p> <p>③市立小中学校について伺う。</p>	
3	<p>風水害における動物の同行避難について</p> <p>今年も昨年同様に台風は発生したものの関東への接近は免れました。しかしながら、避難行動の中で、令和元年台風第19号においては、ペットとの同行避難を躊躇された方もいました。</p> <p>その後、市では動物の同行避難への対策も講じていると思いますが、改めて確認を含めて質問します。</p> <p>(1) 動物同行避難健康手帳について</p> <p>①現状について伺う。</p> <p>②市民への周知について伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
4	公 明 党	市瀬 ひさ子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種について</p> <p>ヒトパピローマウイルス (HPV) の感染がきっかけで起こるがんの一つに、子宮頸がんがあります。日本では毎年約 1.1 万人が罹患、約 2,800 人が死亡しており、若い世代での罹患の増加が問題となっています。HPV 感染を防ぐ HPV ワクチンは、平成 25 年 4 月 1 日より定期予防接種となりましたが、同年 6 月には持続的な痛みが接種後に特異的に見られたことから、定期接種の積極的勧奨をすべきではないとする厚生労働省の通知に基づき、稲城市においても対象者への積極的な勧奨を控えてきた経緯があります。</p> <p>HPV ワクチンは、子宮頸がんを抑止するのに効果的なワクチンであることから、対象者への積極的な勧奨の再開等の早期実現に大いに期待致します。</p> <p>(1) 令和 2 年 10 月 9 日、厚労省より「ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種の対象者等への周知に関する具体的な対応等について」が発出されました。この通知には、ワクチンの有効性・安全性に関する情報等を、対象者に届けることを目的に、市はリーフレット等の資料を個別に送付し周知することが示されています。本通知を受けての、市の対応を伺います。</p> <p>(2) 定期接種となった平成 25 年度から令和 3 年度の接種者数について実績を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(3)HPV ワクチン接種後に重篤な症状が起きた際の、 救済制度について伺います。	
	(4)今後の対応について伺います。	
	①平成26年度以降、積極的勧奨のなかった世代への 接種費用の助成について伺います。	
	②現在国において、積極的な勧奨の再開が検討されて います。市の対応について伺います。	
2	稲城市立病院における、患者に寄り添う体制の強化に ついて 病院長を筆頭に、職員一丸となってコロナ禍における 市民への医療体制の強化にご尽力頂き、心より感謝 申し上げます。稲城市立病院は、「信頼とぬくもりの ある医療」を目指し、地域医療の中核病院として挑戦 を続けることで、市民の皆さまの安心安全につながっ ています。患者に寄り添い続ける病院として、更なる 利便性の向上や、患者、家族が安心して医療の提供を 受けられることができる取り組みについて伺います。	
	(1)診察時の待ち時間に関して	
	①現状について伺います。	
	②今後の取り組みについて伺います。	
	(2)会計時の待ち時間に関して	
	①現状について伺います。	
	②今後の取り組みについて伺います。	
	(3)がん患者への緩和ケアについて	
	①現状について伺います。	
	②今後の取り組みについて伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	市内の交通安全対策について	
	<p>市内において、スピード超過の車両や、自転車運転中の携帯電話使用など、交通ルールやマナーを遵守しない車や自転車と接し、危険な思いをしたとのお声を頂きます。市や多摩中央警察署による様々な安全対策を講じて頂いておりますが、市内交通事故の発生を抑え、市民が安心して日常生活を送ることができるよう、更なる交通安全対策の推進について伺います。</p>	
	(1)ゾーン30について	
	①現状について伺います。	
	②今後の取り組みについて伺います。	
	(2)交通安全教室の開催について	
	①現状について伺います。	
	②今後の取り組みについて伺います。	
4	子どもの発達支援の取り組みについて	
	<p>子どもの発達障がいとは、早期発見・診断により、適切な療育を受けることが望まれます。こうした支援に結びつくことで、子どもが可能性を大きく伸ばしながら成長できるとともに、保護者の不安や負担も軽減されます。公明党はいち早く発達障がいに光を当て、発達障害者支援法の制定をはじめ、皆さまに寄り添い、支援の充実に尽力してまいりました。</p>	
	(1)発達支援センター「レスポ-いなぎ」の現状について	
	①子どもの相談状況を伺います。	
	②子どものうち未就学児、小学生の相談状況を伺います。	
	(2)第2期稲城市障害児福祉計画において、障害児支	

通告番号	会 派 名	氏 名
5	公 明 党	佐藤しんじ

項 目 事 項	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>飼い主のいない猫を守るための活動について</p> <p>稲城市では、飼い主のいない猫への対策、対応が、ボランティア団体等との連携により、着実に実施されていることで、飼い主のいない猫の生存が守られていることと思います。また、多くの市民の快適な生活環境が確保されていることを評価いたします。ボランティア団体や個人の方が活動しやすい環境の維持発展の取り組みに、今後とも期待いたします。</p> <p>(1)現状について伺います。</p> <p>(2)さくらねこ無料不妊手術事業について伺います。</p>	
2	<p>総合的な水害対策の推進について</p> <p>近年の集中豪雨や度重なる大型台風の到来による浸水被害のリスクが高まる中、市民の生命・財産を守り、都市機能を維持していくためには、雨水排水対策が重要です。これまでも継続して実施してきている河川や水路の護岸整備などを今後も進めていただくとともに、特に内水氾濫による浸水対策としまして、下水道における雨水排水整備は急務となっていると考えます。</p> <p>(1)稲城市下水道プランにおける下水道の基本的な役割と雨水排水整備の方針について伺います。</p> <p>(2)市内の雨水排水整備の状況と課題について伺います。</p> <p>(3)下水道による浸水対策への今後の取り組みについて伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
7	改革稲城の会	岩佐ゆきひろ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>南山リハビリテーション病院について</p> <p>(1) 10月1日稲城市で初めてとなるリハビリテーション病院が開院したことに大いに期待をしています。 今後の稲城市との連携について伺います。</p> <p>(2) 市民の方から、「地域の方が入りやすくして頂きたい」他のリハビリテーション病院に入院している方からも「南山リハビリテーション病院になるべく早期に転院出来るよう対応して頂きたい」という声を伺いましたが、そういった要望が市にも届いているのか、また市民のニーズを叶える為にも、病院に対する市の対応について伺います。</p>	
2	<p>小中学校のコロナ禍の対応について</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの感染や感染の疑いによるものではなく、新型コロナウイルスに感染しない為、いわゆる登校控えの方の対応について以下の点について伺います。</p> <p>① 令和3年9月以降の登校控えの児童・生徒の人数について</p> <p>② 欠席の扱いについて</p> <p>③ 児童・生徒における授業の対応について</p> <p>④ 中学校における試験の対応について</p> <p>⑤ 児童・生徒における配布物、提出物について</p>	

	<p>(2) 修学旅行や野沢温泉村宿泊が中止になった小学校の保護者の方から、中止になった行事の代わりにイベントをしてあげて欲しいという声が多々寄せられました。対応についてうかがいます。</p> <p>①小中学校で今年度、中止になった行事について</p> <p>②行われない行事の対応について</p>	
3	<p>タブレット端末を利用したいじめ問題の対策について</p> <p>(1) 東京・町田市の小学6年生の女子児童がタブレット端末を使ったいじめなどを訴え、自殺した問題で町田市は新たに第三者委員会で再調査することになりました。この問題を受けて本市としての対応を伺います。</p> <p>①本市のタブレットの管理について</p> <p>②課題のある使い方について現状と今後の対応</p>	
4	<p>3回目のワクチン接種について</p> <p>(1) 新型コロナウイルスワクチン接種について、国では12月より追加接種(3回目接種)を開始することです。市民からも追加接種がいつできるのかとの声があります。そこで追加接種について今後のスケジュール等について伺います。</p> <p>①令和3年12月から令和4年2月までの追加接種の月別の対象人数と区分について</p> <p>②1,2回目接種の際は年代ごとに区別して接種券を発送しましたが、追加接種の際の発送方法について</p>	

通告番号	会派名	氏名
8	新政会	川村 あや

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>南多摩駅周辺の活性化と利便性向上および交通安全対策について</p> <p>区画整理事業により南多摩駅北側および南側が整備され、バス・タクシーや、送り迎えの車などの通行がスムーズになり、歩行者の安全面でも環境が良くなりました。 駅前の活性化および地域住民の更なる利便性・安全性の向上を求め質問させていただきます。</p> <p>(1)南多摩駅前の活性化について ①南多摩駅前周辺の商業施設誘致について ②南多摩駅前のシェアサイクルステーションの設置について</p> <p>(2)南多摩駅前の利便性および交通安全対策について ①地域住民および駅利用者の利便性と交通安全対策について ②南多摩駅北口側、南多摩駅西交差点の右折信号設置について</p>	

項目 番号	質問要旨	摘要
2	<p>市内小中学校の学習端末利用状況および トラブル回避について</p> <p>国のGIGAスクール構想によって、稲城市内でも昨年12月に市内18の小中学校に1人1台の学習用端末が配布されました。子どもたちの学習意欲や学力の向上等を目的として利用が試みられ、コロナ禍での活用にも大きく影響していると思います。配布から1年を迎え、現在の活用状況および現状把握の観点から質問させていただきます。</p> <p>(1) タブレット活用のガイドブック「I」のコンセプトについて</p> <p>(2) オリジナルな学びについて</p> <p>(3) インタラクティブな学びについて</p> <p>(4) 学習端末でのトラブルについて</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
9	新 政 会	坂田 たけふみ

項目番号	質 問 要 旨	摘 用
1	<p>稲城ロケーションサービスにおけるロケ地誘致と観光活用について</p> <p>近年、稲城市内でTVドラマなどの撮影が増えたように思われます。また、稲城市観光協会のホームページでも撮影情報として、番組名や撮影場所、出演者などを掲載しています。</p> <p>TVドラマなどの撮影の総合的な窓口を行っている「稲城ロケーションサービス」を活用した観光振興について伺います。</p> <p>(1)「稲城ロケーションサービス」の成り立ちについて伺います。また、それを活用してどのように観光振興に結び付けるのかについて伺います。</p> <p>(2)観光に活用するために、まずはTVドラマなどの撮影の誘致が必要と考えます。この誘致の仕方について伺います。</p>	
2	<p>市有地の有効活用について</p> <p>稲城市は、国全体の高齢化率や人口減少化率と比べても、平均年齢も若く、今後も緩やかではありますが、人口が伸びていく、まだまだ発展が見込まれる自治体です。そうした事からも先々を見越して、持続可能な行財政運営を進めるためには、市有地の更なる有効活用が必要と考えます。</p> <p>(1)市有地の有効活用について伺います。</p> <p>①基本的な考え方を伺います。</p> <p>②市有地の活用方法について伺います。</p> <p>(2)市有地の使用許可及び貸し付け状況について伺います。</p> <p>(3)市有地の売り払い状況について伺います。</p> <p>(4)法定外公共物等の整理状況について伺います。</p> <p>(5)今後の取り組みについて伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
10	日本共産党	岡田まなぶ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>新型コロナ対策—第6波への備えと 市民の生命とくらしを守る取り組みについて</p> <p>(1) ワクチン接種推進とともにいつでもどこでも無料で PCR 検査をと求めてきた。政府は無症状者の無料 PCR 検査を打ち出した。市の認識と対応は。</p> <p>(2) 東京都医師会長は、「早期発見、早期介入、早期治療」の3本だてで、第6波に備えたいと述べている。医師会とも連携して第6波への備えが求められるが市の取り組みは。</p> <p>(3) 第6波に備える市立病院の病床確保について。</p> <p>(4) 新型コロナ禍の長期化のもと子どもの学びの保障と心身のケアの取り組み状況は。</p> <p>(5) 新型コロナの影響で、厳しい状況の続く、市民、事業者への支援について。</p> <p>(6) 働く女性の自殺が増えている。厚生労働省は、2021年版の自殺対策白書で、新型コロナ感染拡大による失職や収入減が背景にあると指摘されている。心身ともに疲弊した女性の命を守るために相談体制の拡充・強化が求められると考えるが市の認識と取り組みは。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>補聴器助成など高齢期の聞こえの支援について</p> <p>難聴になると、家庭の中でも社会的にも孤立しやすく、会話の機会も減り、ひきこもりになりがちです。</p> <p>65歳以上の2人に1人が難聴で、生活の質の低下につながるという実態や難聴が認知症のリスクの要因と指摘されています。</p> <p>高齢化社会のもと、加齢性難聴者の方々への聞こえの支援について質問する。</p> <p>(1) 稲城市でも高齢化が進むもと、加齢性難聴者の方々への聞こえの支援は、生活の質の向上に重要と考えるが認識は。</p> <p>(2) 加齢性の難聴はゆっくりと進行するため、自覚しにくく、気づくのが遅れがちになります。早期の補聴器使用につなげるために早期発見が必要です。聴覚検査を健診メニューに加えることについて認識は。</p> <p>(3) 補聴器購入費の医療費控除の周知について。</p> <p>(4) 10月に市民健康教育講座「難聴よもやま話」が開催されました。高齢期の聞こえの支援に関する学習会や講演会実施の取り組みは。</p> <p>(5) 補聴器の普及を進める上で金額が高いことが課題となっている。特に所得の低い人へのサポートが求められる。都内の自治体でも高齢者を対象にした補聴器の購入助成が広がっている。市としても、補聴器の購入助成を検討すべきと考えるが認識は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>不登校の子どもへの学びの保障について</p> <p>(1) 小・中学校の5年間の不登校の推移および支援は。 (2) タブレット活用による不登校の子どもへの学びの支援について市の取り組みは。</p>	
4	<p>子どもの医療費無料化の拡充について</p> <p>子育ての大きな不安の1つに子どもの病気があります。 子どもは病気にかかりやすく、抵抗力が弱いため、重症化する不安があり、病気の早期発見・早期治療を支える環境が大切です。</p> <p>その一つとして、子供の医療費の心配をなくすことは、重要な子育て支援です。子どもの医療費無料化の拡充を求めて質問する。</p> <p>(1) 子どもの医療費助成制度の目的と内容について。 (2) 小・中学生の所得制限の撤廃、通院の自己負担をなくすべきと考えるが認識は。 (3) 高校生まで拡充すべきと考えるが認識は。 (4) 東京都に制度の拡充を求めるべきと考えるが認識は。 (5) 国に子どもの医療費助成（無料化）制度の創設を求めるべきと考えるが認識は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
5	<p>高齢者理美容割引券の利用促進について</p> <p>高齢者理美容割引券について、「知らなかった」「もっと知らせてほしい」「手続きを簡易に」という声が寄せられています。利用促進に向けた取り組みを問う。</p> <p>(1) 制度の内容と利用状況について。</p> <p>(2) 利用促進の取り組みについて。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
11	新政会	梶浦みさこ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>稲城市立小中学校の児童生徒の防災頭巾・防災ヘルメットについて</p> <p>災害に備え、防火性が高く被りやすい防災頭巾、防護効果が高く軽量かつコンパクトになった防災ヘルメットを併用したり移行したりしている自治体、教育委員会・学校があることを踏まえ、稲城市立小中学校に在籍する児童生徒の安全を考え、個人用常備防災用品について伺います。</p> <p>(1) 小学校児童の個人用常備防災用の防災頭巾等の学用品について</p> <p>小学校へ入学する児童の新入学学用品として保護者に準備いただく防災頭巾・防災用ヘルメットなど、個人用常備防災用の学用品の状況について伺います。</p> <p>(2) 教育費支援の新入学学用品費の支給における個人用常備防災用の学用品の扱いについて</p> <p>就学援助費・就学奨励費の新入学学用品費について、その支給額の積算内容として、防災頭巾等の個人用常備防災用の学用品も含まれて支給されているのか伺います。</p> <p>(3) 小学校に防災ヘルメットも用意することについて</p> <p>小学校において普通教室から特別教室等へ移動する際の日常的な使用や装着の容易さなど、防災頭巾の有用性を認識しておりますが、防災頭巾、防災ヘルメット、頭巾型ヘルメットなどを併用・移行する自治体や教育委員会・学校が増えてき</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>ている現状があります。災害に備え、児童の安全と身体保護の観点から、防災用品として防災ヘルメット等の常備が望まれると考え、市の見解を伺います</p>	
	<p>(4) 中学校生徒の個人用常備防災用の学用品の状況について伺います。</p>	
	<p>(5) 中学校生徒の防災ヘルメット等の常備について 災害に備え、生徒の安全と身体保護の観点から、防災用品として防災ヘルメット等の常備が望まれると考え、市の見解を伺います。</p>	
2	<p>女性や児童生徒の自殺予防対策の強化について 11月に閣議決定した令和3年版の「自殺対策白書」で、働く女性や児童生徒の自殺増加が令和2年は顕著だったとして、新型コロナウイルスの感染拡大による環境の変化が関連した可能性があるとして指摘されていることから、稲城市の自殺予防対策の強化について伺います。</p> <p>(1) 稲城市の自殺者の人数について 平成30年から令和2年の過去3年間の自殺者の状況について伺います。</p> <p>①総数と男女別の人数について ②年代別の人数について ③職業別の人数について ④原因・動機別の人数について</p> <p>(2) 稲城市自殺対策計画の施策の進捗状況について</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	①地域におけるネットワークの強化について ②自殺対策を支える人材の育成について ③住民への啓発と周知について ④生きることの促進要因への支援について ⑤児童・生徒の自殺予防対策の推進について	
	(3) 女性の自殺予防対策の強化について 令和3年版自殺対策白書で、働く女性の自殺の増加が令和2年は顕著となり、新型コロナウイルスの感染拡大による労働環境への不安や生活環境の変化が関連した可能性があると指摘されています。白書の増加要因を受け、稲城市の女性の自殺予防対策について伺います。	
	(4) 児童生徒の自殺予防対策の強化について 令和3年版自殺対策白書では、学生生徒の自殺の増加が令和2年は顕著となり、新型コロナウイルスの感染拡大による学校や生活環境の変化が関連した可能性があると指摘されています。白書の増加要因を受け、稲城市立学校の児童生徒の自殺予防対策について伺います。	
3	稲城市議会議員選挙の「立候補者の告示(掲載)事項等範囲の限定・縮小」による立候補環境の整備と「住所要件を満たさない者の立候補の抑制」について 地方自治体議員選挙は、当該自治体に3か月以上の居住や、立候補届出の告示による住所の公表など様々な要件があります。多様な層の市民が市議会に参画しやすい環境を整備する必要があると考え、候補者のプライバシーと公正な選挙執行のバランスを図ることについて伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(1) 稲城市議会議員選挙立候補者の告示(掲載)事項等 範囲の限定・縮小など立候補環境の整備について</p> <p>立候補届出告示の住所公表によるストーカー被害の発生 事例など、立候補に支障を来すおそれがあると指摘されてい ます。ウェブサイト等への掲載対応を含め、告示事項の範囲 の限定・縮小などにより、多様な人材が立候補しやすい環境 を整備して頂きたいと考えます。今後の稲城市議会議員選挙 について、届出の告示事項とウェブサイトの掲載の範囲につ いて、市の見解を伺います。</p>	
	<p>(2) 住所要件を満たさない者の稲城市議会議員選挙への立 候補の抑制について</p> <p>地方自治体議員選挙後、住所要件を満たさない者の当選 無効に関する報道が多く聞かれます。今後の稲城市議会議 員選挙においては、住所要件を満たさない者の立候補の抑 制により、公正な選挙を図っていただきたいと考え、市の見解 を伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
12	起風会	鈴木 誠

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>防災・防犯に関する稲城市の取り組みについて</p> <p>個人情報保護法の施行以来、自治会会員名簿やPTA連絡網などの作成が憚られる傾向が強い。しかし、災害時に共助したくとも、どこに住民が居るのかも名簿等がないため対応できない状況が懸念される。これまでも同件については平成23年第2回～平成29年第2回定例会までに幾度か質問しているが、</p> <p>(1) 避難行動要支援者名簿等について</p> <p>① これまでも各自治会・自主防災組織、行政関係団体を中心に整備が進められてきたが、現在保管・活用している団体数はどのような傾向か伺う。</p> <p>② 各団体名簿の更新に関しては、市はどのように把握・指導しているか、伺う。</p> <p>(2) 稲城市立小中学校の連絡網について</p> <p>① 一昔前は当たり前であったクラス連絡網も作成されないケースが多くなっている。稲城市立の小中学校ではどのようなになっているか改めて伺う。</p> <p>② メーリングリスト、或いはSNS等の通信手段普及もあるが、利活用の状況を伺う。</p> <p>(3) 防犯上の事例について</p> <p>① 各種名簿を利用した詐欺などの犯罪、或いは営業等が懸念されるが、名簿悪用によるどのような事例が発生しているか、把握されている内容を伺う。</p> <p>(4) 名簿等作成に関する周知啓発について</p> <p>① 各種名簿の作成に当たっては、個人情報保護法の誤った理解や過剰反応も散見される。箕面市ふれあい安心名簿条例のような例もあるが、市としてどのように名簿等作成に当たっての心構えを周知しているか伺う。</p>	

2	<p>稲城市の財産管理及び処分、活用について</p> <p>令和2年第4回定例会で「稲城市という自治体そのものが稼ぐ」ことについて質問した。また、普通財産は行政財産と異なり、公用又は公共用に供するものではなく、その管理及び処分について原則的に制限等はないとされているが、</p> <p>(1) 行政財産に関する考え方について</p> <p>①市は行政財産についてどのような考えで活用・運用等を行っているか、伺う。</p> <p>②収入につながっている事例について伺う。</p> <p>(2) 普通財産に関する考え方について</p> <p>①市は普通財産についてどのような考えで活用・運用、或いは処分等を行っているか、伺う。</p> <p>②公用又は公共用に供するための必要が生じた時について、借地契約等はどのように行われているか、改めて伺う。</p> <p>(3) 法定外公共物等の整理について</p> <p>①「法定外公共物等の市有地の整理事業を集中的に進めている」と以前の話にあったが、その後の進捗や今後の見通しについて見解を伺う。</p>	
3	<p>稲城市への外国人転入状況について</p> <p>令和3年11月1日時点の稲城市世帯数を見ると、41,852世帯中1,061世帯が外国人のみ或いは混合の世帯となっている。平成23年4月時点では501世帯だったことからすると、人口増加率に比較して外国人の増加率は大きな伸びであると感じるが、</p> <p>(1) 稲城市としてこの人口変化の傾向をどのように捉えられているか、伺う。</p> <p>(2) 外国人転入時には、どのような手続きがあり、当人らへどのような情報周知がされているか伺う。</p>	

稲城第二中学校の校舎並びに周辺環境の整備・改善について

令和元年第3回定例会にて質問した制服デザインの変更について、ついに稲城第二中学校で取り組みが始まった。再来年春にはその新たな姿を見られることに、地域では期待の声も上がっているが、

(1) 稲城第二中学校校舎について

① これまでにも幾度となく同件を取り上げ「施設の老朽の程度や学校運営及び義務教育施設整備状況の優先順位並びに財政状況を見ながら、適宜判断する」とのことと回答があったが、改めて市内中学校6校の建築年と最終の改修年を伺う。

② 改めて第二中学校の周辺建築物と比較した上で、校舎現状に対する見解を伺う。

(2) 周辺環境について

① 付近交差点信号機については早急に改善が為され、生徒・保護者・地域住民からは率先して動いてくれた市当局に対して感謝の言葉が多く聞かれた。さらに、交差点角地の日本大学敷地に対する歩道整備が喫緊の課題として残っているが、進捗状況を伺う。

通告番号	会派名	氏名
13	起風会	中田 中

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>稲城市におけるウォーカブル推進都市の取り組みについて</p> <p>稲城市は、令和元年の第3回定例会で角田議員への答弁にもあったが、国土交通省が募集したウォーカブル推進都市（「居心地が良く歩きたくなる“まちなか”」づくりに賛同する地方公共団体）317自治体の一つとして登録されている。この制度は、2020年9月に施行された改正都市再生特別措置法（ウォーカブル推進法）に基づいて、都市の魅力を向上させ、まちなかににぎわいを創出することを目的とするものであり、街路の広場化や民地のオープンスペース化、公園内へのカフェ・売店設置などに官民一体となって取り組むことを推進していると理解している。また「自転車のまち稲城」を掲げる稲城市の方向性にも合致していると考え。</p> <p>先の答弁では「賛同自治体との情報交換や、国の制度などの活用も検討しながら、魅力と活力あるまちづくりに取り組んでいく」とのことだったが、これまでの2年間はコロナ禍の制約もあり「にぎわい創出」の成果を問うことは難しいと考える。</p> <p>しかしながら、ワクチン2回接種者の増加、ブースター接種の実施により、新型コロナ収束への期待が高まる現時点においては、市内経済の振興のため、この制度への取り組みにも力を入れていくべきである。</p> <p>以上の点を踏まえ、この制度に対する市の考え方や今後の取り組み方針について、確認させていただく。</p>	
	<p>(1)「ウォーカブル推進都市」募集の基礎となっている令和2年の都市再生特別措置法改正の概要（法改正の目的や主な内容など）について確認したい。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(2) 「ウォーカブル推進都市」とはどのようなものを指すのか(定義)、具体的にはどのような事業に取り組むのか、官民の役割分担も含めて確認したい。	
	(3) 稲城市が「ウォーカブル推進都市」に賛同した理由や経緯について確認したい。また「賛同自治体との情報交換や、国の制度などの活用も検討」との答弁があったが、具体的な実績があれば、合わせて確認したい。	
	(4) 「ウォーカブル推進都市」の考え方と、「第五次稲城市長期総合計画」との関係について確認したい。(計画策定時に考慮されたのかどうか、考慮されたのであればどのようなところに反映されたのか、など)	
	(5) 都市再生特別措置法に基づく都市再生整備計画に記載可能な官民連携まちづくりの取り組みの中で、「居心地が良く歩きたくなる“まちなか”」を創出する支援制度について	
	① まちづくりの中核を担う法人として、民間のまちづくり団体を都市再生推進法人に指定することについて、市の考えを確認したい。(イベント等で道路・公園の占用使用許可申請等のサポート等を期待)	
	② 人が歩いて移動することを想定した1km程度の範囲のエリアを滞在快適性等向上区域(通称:まちなかウォーカブル区域)に指定することで、様々な支援が得られるとのことだが、稲城長沼駅-稲城駅間(これも約1km弱)をメインストリートとする計画を考えていた稲城市でも有効なのではないか、市の考えを確認したい。	
	③ 官民一体で「居心地がよく歩きたくなる」空間整備に取り組む「一体型ウォーカブル事業」に取り組む際の課題について、市の考えを確認したい。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>④ 都市公園法の特例等により、協定に基づく民間でカフェ・売店や、情報発信の環境整備と収益向上を目指す看板等を公園内に設置することについて、場合、市の考えを確認したい。</p>	
	<p>(6) 「居心地が良く歩きたくなる“まちなか”」の特徴を示す4つのキーワードとして WEDO (Walkable: 歩きたくなる、Eye Level: まちに開かれた1階、Diversity: 多様な人の多様な用途、Open: 開かれた) が提唱されている。稲城市はニュータウン地区や区画整理事業地内を中心に歩道や公園が整備されており「Walkable」な環境整備は比較的進んでいるが、残りの E、D、O については、まだまだこれから、という状況だと考える。</p> <p>例えば、若葉台駅から若葉台公園までの約1kmの範囲を歩いてみても大規模店舗・施設の壁に囲まれて中で何が行われているか分からず、それなりに人は集まってはいても、なかなかぎわいを感じることができないのが現状である。</p> <p>稲城中央公園の ZEBRA Coffee のようなオープンな施設が増えていけば、そのような状況は改善されると思うが、歩いて回るにはまだまだ点と点が離れすぎていると考える。</p> <p>「自転車のまち稲城」を目指すとしても、全ての人が自転車で移動するわけではないので、歩いて回れる範囲に施設を集めるような取り組みは必要と考えるが、これについて市の考えを確認したい。</p>	
	<p>(7) 「ウォークブル推進都市」が掲げる「居心地がよく歩きたくなる“まちなか”」を創出するために「官民一体となってまちづくりに取り組むこと」は、補助事業に取り組むか否かに関わらず、重要だと考える。これについて市の考えを確認したい。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	避難所運営における資機材の整備状況について	
	<p>先日の稲城市地域防災訓練では、避難所運営における資機材整備が進んでいることが確認できた（防護衣・フェイスガード・消毒液といった避難者・運営者を感染から守る資機材や、テントや段ボールベッドといった避難者のプライバシーや快適な生活環境を維持するための資機材など）。</p> <p>稲城市では、日頃より自主防災組織による防災活動や、避難所運営関係者会議等の開催により、市民の防災力向上に取り組んでいることは理解しているが、これらの新装備を有効に活用していくには、自主防災組織を始めとする市民への周知・訓練が重要になると考える。</p> <p>避難所運営資機材の導入状況と、その活用・周知について、市の考えを確認させていただく。</p>	
	(1) 避難所受付にて使用される資機材（防護衣・フェイスガード・消毒液等）について、どのようなものが導入されたのか、また市内避難所への配備状況（または予定）について確認したい。	
	(2) 避難所内で安全かつ快適に過ごすための資機材（テント・段ボールベッド等）について、どのようなものが導入されたのか、また市内避難所への配備状況（または予定）について確認したい。	
	(3) 稲城市地域防災訓練では、地元自主防災組織への訓練が実施されていることは確認できたが、他地域に向けてはどのように周知し、訓練を実施していくのか、市の考えを確認したい。	
	(4) 稲城市防災訓練の炊出し訓練では、運営者側で配膳するアルファ米セットを使用していたが、感染症流行時には、個包装のアルファ米の方が適しているとも考えられるが、市の考えを確認したい。（自主防には個包装を推奨してもいいのではないか）	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	若葉台公園のキッチンカー出店について	
	<p>11月より若葉台公園にもキッチンカーが出店するようになり、初日の11月13日はかなりの人気だったと聞いている。若葉台公園にキッチンカー出店を決めた経緯と、本事業に今後どのように取り組んでいくのか確認したい。</p>	

通告番号	会派名	氏名
14	市民クラブ	あらい 健

項目番号	質問要旨	摘要
1.	<p> 1. 指城市における市民サービスの活用状況とサービス向上に向けた指城市としての認識と対応について いまの時代はデジタル社会に入り、何れもがデジタル化されることとして、国や市も各種申請のサービス見直し等も含め、情報発信の収集等もすべてデジタル化し、市民の個人情報を適切に行政が把握し管理しなくてはならない。 私自身も潮流がデジタル化に進んでいることは理解しているが、科学の進歩を社会生活に活用することは必要不可欠だと思っております。しかし国や市がデジタル化の中心は、そのための環境づくりや、制度、人材、スキル等も少なからず必要です。私は国や市がそのような取り組みを重視してデジタルと中心に行政運営を進めていくことは、強く懸念を感じております。 特に市役所からデジタル推進とされたことは、市民生活の向上、行政運営や環境整備に取り組むことと強く求められていると思っております。 そこで指城市における市民サービスの活用状況とそれに向けた指城市の認識と対応策について伺います。 </p> <p> (1) 指城市における市民サービスの活用状況について ① マイナンバーカードの取得状況について ② マイナンバーポスターの取得状況について </p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>③ H.Pのアクセス状況について</p> <p>④ H.Pを境、児童公園の設置状況について</p> <p>⑤ デジタル環境の整備状況について</p>	
	<p>(2) 現在のデジタル環境と市民の利用率に対する市の認識について</p>	
	<p>(3) デジタル格差解消に向けた取り組みについて</p> <p>デジタル格差を解消する工夫や取り組みが、必要だと感じる市としての対応策等について伺います。</p>	
	<p>① デジタル環境の整っていない、家庭や必要地域でのデジタル環境を整備するに</p>	
	<p>② デジタルを伴った様々な方々のために、各地域に指導員等を配置し、指導相談体制を向上させるに</p>	
	<p>③ 市民の情報提供や広聴においてはデジタルのみを案内しない</p>	
	<p>④ デジタルを介して市民に案内する手段を模索し、実施するに</p>	
	<p>2. この間の行政運営について</p>	
	<p>今年 集団行政の発足と行政運営について 「聴く力」の必要性が強調されている。 当然のことながら市政においても、そのことは行政運営の基本である。 そういう視点から市政と関係して、むしろ、明らか そうして苦勞が、費らぬが、あつては、よいのでは、 かと思われ行政運営が行われて、いるのでは、ないか」と</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>感あるものな少くなく感じ。そこで今回は平尾にある 山王橋公園隣地の活用に向けて市の行政運営につ いて意見を伺いたい。</p>	
3.	<p>中2次観光基本計画について</p> <p>市の1次計画が終了のあとで、中2次観光基本計 画を策定した。</p> <p>今日はそのことについて下訳を伺いたい。</p> <p>(1) 計画の策定にあたってどのような取り組みが行われ たか</p> <p>(2) 今回の計画では、従来の不十分ではなか</p> <p>(3) 各区域にある伝統行事や文化財を活用し、地域の 観光振興の推進について</p> <p>(4) 文化財とどう活用するか環境整備について</p> <p>(5) 郷土資料館 民家のさらなる活用について</p>	
4.	<p>ますますひどくなる平尾中央とおり交通渋滞に 対する稲城市の取り組みについて</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
15	市民クラブ	武田まさひと

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1.	<p>南山東部土地区画整理事業と周辺のまちづくりについて</p> <p>10月に多3・4・12号読売ランド線のトンネルが開通して、交通環境が改善されました。南山東部土地区画整理事業に連動する周辺のまちづくりについては観光振興や商業の活性化、また周辺住民の利益に寄与する様、市民の意見も取り入れながら進める必要があると考えます。</p> <p>(1) 南山地域全体の開発スケジュールについて伺います。</p> <p>(2) 周辺の道路整備について伺います。</p> <p>※</p> <p>(3) よみうりランドの拡張及び「TOKYO GIANTS TOWN 構想」周辺のまちづくりについて伺います。</p> <p>① 「TOKYO GIANTS TOWN 構想」計画の内容について</p> <p>② 新球場に連動した京王よみうりランド駅周辺のまちづくりについての稲城市の方針について。</p> <p>③ よみうりランド関連施設の拡充および「TOKYO GIANTS TOWN 構想」の新設に合わせて、関係各所と連携し様々な検討をされているとの事だが、その構成組織の内訳と会議の進行状況、また、それに対し稲城市が果たしている役割について伺います。</p> <p>(4) 京王よみうりランド駅を中心とした「駅まち空間」について。</p> <p>① 現在の京王よみうりランド駅南側にバスロータリーがありますが、今後、京王稲城駅からなどのバスの便数が増えると想定するが、空間の活用を含めた市の対応を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2.	<p>②京王よみうりランド駅北口の整備について、改めて確認をします。</p> <p>③京王よみうりランド駅を中心とした「駅まち空間」について市の認識を伺います。</p> <p>(5) よみうりランドや新球場の新設に合わせたバス路線の延伸及び新規運行路線について伺います。</p> <p>①京王線の稲城駅や若葉台駅からのバス交通で集客を誘導することについて市の見解を伺います。</p> <p>②南武線からの集客を誘導する為の矢野口駅、稲城長沼駅、南多摩駅発着のバス路線の延伸や新設について市の見解を伺います。</p> <p>マイナンバーカードについて</p> <p>国が行政手続のデジタル化、オンライン化で必要となるとして、マイナンバーカード取得の普及を勧めています。マイナンバーカードについてはDX時代を迎え、必要だと認識していますが、利便性の他、リスクやセキュリティについて十分に考えていかなければならないと思います。</p> <p>(1) 稲城市は政府の方針に従い、全国平均を上回る取得率となっていると認識をしています。</p> <p>①稲城市の直近でのマイナンバーカードの交付状況について伺います。</p> <p>②既に令和3年10月20日から実施しているマイナンバーカードと健康保険証の紐づけについて伺います。</p> <p>(2) セキュリティ面について伺います。</p> <p>(3) マイナンバーカードを取得したあとの所有者管理について</p> <p>①窓口で、申請者に対し注意を促している内容を確認の為、伺います。</p> <p>②万一、紛失した場合のリスクは何かあるのかを伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
16	市民クラブ	村上洋子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1.	<p>ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンと子宮頸がん検診について</p> <p>ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン、いわゆる子宮頸がんワクチンは平成25（2013）年4月に定期接種となったものの、副反応報告が相次いだため、わずか2か月後の6月には「積極的接種勧奨を中止」して現在に至ります。</p> <p>副反応は、ハンマーで殴られるような頭痛や全身の疼痛、記憶障害、不随意運動など多様な症状が1人の患者に重層的に表れる重篤なものが数多く報告されました。</p> <p>稲城市議会におきましては、平成25年第4回定例会において「子宮頸がんワクチンの精査・検証と被害者救済を求める意見書」を賛成多数で可決し衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣に提出しています。</p> <p>しかし、令和3年11月12日、厚生労働省の専門部会は「積極的勧奨の再開」を決定したとの報道がありました。</p> <p>議会より提出した意見書の内容が実現されているのか検証し、接種対象者等が接種の判断をする材料として、現在の状況の点検を行っていくべきと考え質問いたします。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(1) 稲城市議会平成 25 年 12 月 18 日意見書の 5 項目について、その内容は実現されているか市としての認識を伺います。</p> <p>① 子宮頸がん予防については、検診の重要性をうたったうえで、当ワクチン接種に関しては、義務ではなく、あくまでも自己判断であることを明記すること。は実現されているか。</p> <p>② ワクチン接種対象者及び国民に対しては、製薬会社からの情報だけでなく、現在までに起こっている副反応事例の発生率や症状について、公平・公正な幅広い情報を提供すること。は実現されているか。</p> <p>③ 副反応被害者に対しては、速やかな補償、並びに相談事業の体制を国として構築すること。は実現されているか。</p> <p>④ 全国で起きている副反応被害の実態把握に努めると同時に、このワクチンの有効性と安全性を精査・検証し、説明責任を果たすこと、それまでの間、被害拡大防止のために国として積極的勧奨の一時見合わせを継続する。は実現されているか。</p> <p>⑤ 子宮頸がんは、検診により早期発見・早期治療が可能であることから、若い世代が受診しやすい検診体制の工夫と充実を図ること。は実現されているか。</p> <p>(2) 今後の市の対応について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2.	<p style="text-align: center;">子どもの命を守る取り組みについて</p>	
	<p>子どもの自殺者数が令和2年に過去最高となり、小・中学生、高校生の自殺者は前年から約100人以上増え、479人となりました。</p> <p>タブレットの1人1台配布が進み、インターネット上での「いじめ」の把握についても課題とされています。コロナ禍での不安の影響も推測されますが、子どもの命を守る取り組みが急務です。</p> <p>なかなか表面上は見えにくい心の「SOS」を、誰でも回答しやすいアプリを利用して早期発見をしようとする取り組みも進みつつあります。</p> <p>様々な方法で子どもの命を守る取り組みが必要と考え市の取り組みについて伺います。</p>	
	<p>(1) 市内小・中学校の子どもの命を守る取り組みについて伺います。</p> <p>① 現状と課題について</p> <p>② 今後について</p> <p>(2) ICT を利用した子どもの「SOS」察知の取り組みについて伺います。</p> <p>① 現状と課題について</p> <p>② 今後について</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3.	<p>危険なブロック塀等の改修について</p>	
	<p>平成 30 年 6 月の大阪府北部地震で小学生の少女が倒壊したブロック塀の下敷きになって亡くなるという痛ましい事故を機に、稲城市では緊急調査や公共施設のブロック塀をメッシュフェンスに改修するなど取り組みを進めて来ました。</p> <p>しかし、通学路を含め、いまだに多くの危険なブロック塀が存在し、安全性が担保されているとは言えません。</p> <p>たびたび地震が発生し、直下型の大地震の可能性もあることから、通学路や人通りの多い道路に面したブロック塀等の改修をさらに推し進めていく必要があると考えます。</p>	
	<p>(1) ブロック塀改修のこれまでの取り組みについて伺います。</p> <p>① これまでの経緯と補助金制度の内容、市民への周知・PRの方法について</p> <p>② 補助実績について</p> <p>(2) 現在の通学路のブロック塀の状況について伺います。</p> <p>(3) 今後の取り組みについて伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
17	日本共産党	田島きく子

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>気候変動について</p> <p>国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議 (COP26) が 11 月 13 日まで、イギリスのグラスゴーで開かれ、石炭火力発電の段階的削減の加速や各国の温室効果ガス排出削減目標の強化を呼びかけた成果文書を採択しました。この現状を踏まえて、質問します。</p> <p>(1) 市民への周知啓発について</p> <p>① 気候変動が引き起こす様々な問題や将来への影響について、多くの市民に知ってもらう必要があると考えますが認識をききます。</p> <p>② 気候変動の問題や対策などを市民が学ぶための啓発活動について、市として取り組んできた事をききます。</p>	
2	<p>多摩川の水害対策と災害時の避難対策について</p> <p>多摩川の水害については、2019 年 10 月の台風 19 号の時にその影響の大きさが明確になりました。先に述べた気候変動の影響により、これからも水害が発生する可能性はあると考えます。そこで多摩川の水害対策についてききます。</p> <p>(1) 2019 年 10 月以降、多摩川流域の関係機関が連携してまとめた、「多摩川緊急治水対策プロジェクト」について</p> <p>① このプロジェクトに基づいて、稲城市内で実行された対策をききます。</p> <p>② 今後、稲城市内で多摩川の水害対策として実行予定のある対策をききます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(2)水災害時の避難について</p> <p>①一人暮らしの高齢者などの要支援者の移動について対策をききます。</p> <p>②台風19号の際は「避難を知らせる防災無線が聞こえなかった」という声が出されましたが、その後の対策をききます。</p> <p>3 中島地区の通学路の安全対策について</p> <p>(1) 矢野口駅東交差点から川崎に向かう線路沿い道路の交通安全について</p> <p>①当該道路について危険性を指摘する市民の声がありますが認識をききます。</p> <p>②当該道路の市としての交通安全対策および警察との協議内容についてききます。</p> <p>(2) 時間規制について</p> <p>①通学時間帯に交通を規制している市内の道路がどこにあるかをききます。</p> <p>②「矢野口駅東交差点から川崎に向かう線路沿い道路」の交通安全の対策として時間規制を設けるべきと考えますが認識をききます。</p>	
	<p>4 多摩サービス補助施設の市民利用と返還について</p> <p>(1) 市民の利用について</p> <p>①同施設への稲城市民の利用状況についてききます。</p> <p>②自然散策や貴重な戦争遺跡の研究など、もっと自由に市民が利用できるようにするべきと考えますが認識をききます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(2) 土地の返還について</p> <p>①同施設のこれまでの土地の返還状況について ききます。</p> <p>②全面返還のために力を尽くすべきと考えます が認識をききます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
18	市民クラブ	いそむら あきこ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>利用者目線の公園整備と市民参画による公園づくりについて</p> <p>お年寄りや障害のある方、赤ちゃん連れの親子など、誰もが安全により楽しく、利用したいと思える公園であるためには、利用者目線の適切な公園整備と市民参画による公園づくりが重要であると考えます。特に、今後、新しく整備される公園や大規模な改修を行う予定の公園などには、より多くの市民の方に参画してもらうための取組みが大切であると考えます。また、多くの市民の方からも参画したいとのお声をいただいています。そこで、公園整備の現状と市民参画の取組みについて伺います。</p> <p>(1) 利用者目線の公園整備について</p> <p>①直近の遊具の安全調査で、日本公園施設業協会が定める基準にもとづき4段階(A~D)にランク付けされている遊具数についてそれぞれ伺う。</p> <p>②過去5年間の公園遊具の設置・撤去などに関する予算額とどのような計画で遊具の更新が進められているか伺う。</p> <p>③トイレの設置がない公園や新しく整備する公園などへの、トイレの設置について伺う。</p> <p>④ボール遊びや特定のスポーツを禁止としている公園数と禁止となる基準について伺う。</p> <p>(2) 市民参画の取組みについて</p> <p>①アダプト制度の普及啓発の取組みについて伺う。</p> <p>②直近3年間のいなレポアプリの登録者数とアクティブユーザー数について伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>③新しく公園整備や大規模改修を行う公園などで、より多くの市民の方に公園づくりに参画してもらうためには、公園・緑地あり方検討会以外の市民参画の取組みも必要だと考えるが認識を伺う。</p> <p>④市民協働での公園おでかけマップの作成や目的別に見やすい市ホームページなど、より市民に公園を楽しく利用してもらう取組みについて伺う。</p> <p>2 切れ目のない若者支援について</p> <p>新型コロナウイルスにより、多くの子どもたち、若者たちは不安を高め、「望まない孤独」の問題が顕著化しています。文部科学省の分析によると、昨年1年間に自殺した小中高生は479人で、過去最多となりました。また、厚生労働省の「自殺対策白書」(2020年版)では、15～39歳の死因の1位は自殺との報告があります。</p> <p>内閣府では、今年の4月に「子供・若者育成支援推進大綱」を改定し、子供・若者の生命・安全確保の徹底についての取組みや、孤独・孤立問題への対応を強化する方針などを明記しました。そこで、本市の若者支援の現状とさらなる推進について伺います。</p> <p>(1) 若者を取り巻く現状について認識を伺う。</p> <p>(2) 本市における若者に対する支援について、どのような取組みがあるのか伺う。</p> <p>(3) 子ども・若者育成支援推進法では、自治体において子ども・若者計画を作成することが努力義務となっているが、計画作成の考え方について伺う。</p> <p>(4) 今後の若者に対する支援の推進について伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>多摩川サイクリングロードの安全対策について</p> <p>現在、多摩川サイクリングコースは、稲城市から川崎市幸区の国道1号線多摩川大橋までの約24kmの区間が連続して舗装整備されており、市内外から多くのサイクリストに利用されています。その一方で、サイクリングコースは、自転車と歩行者の両者が共に利用できるため、接触事故やトラブルが発生しているといった声を伺っています。自転車の方も歩行者の方もお互いにルールを守り、安全に利用ができるよう、さらなる安全対策が必要であると考えます。そこで、多摩川サイクリングロードの現状と安全対策について伺います。</p> <p>(1) 現状について</p> <p>① 事故の発生状況と市民からの相談内容について伺う。</p> <p>② 現在、ハード面とソフト面でどのような安全対策がされているのか伺う。</p> <p>(2) 今後の安全対策について伺う。</p>	
4	<p>学童クラブの待機児童対策について</p> <p>市ではこれまで、全ての小学校で、月曜日から金曜日まで放課後子ども教室を行うことで、学童クラブに入所できない児童が安全で安心して過ごすことができる放課後の居場所として取り組んできたことについて、評価をしています。しかし、共働き家庭が増え、放課後に適切な遊びと生活の場を提供し、健全な育成を行う学童クラブに子どもを入所させたいという声や、学童クラブの受入定員の拡大を望む声も保護者の方より多く寄せられています。本市は、人口増加が続く中、子どもの数も増加傾向であることから保育園同様に、学童クラブの定員拡大等についても市民の声に寄り添い、前向きに取り組むことが必要であると考えます。そこで、学童クラブの待機児童対策について認識を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(1)令和４年４月１日入所にあたり、希望する学童クラブに入所できない児童が多く発生する地域をどのように見込んでいるのか伺う。</p> <p>(2)受入定員の基準をできる限り緩和し、令和４年４月１日時点ではできるだけ多くの入所希望者を受け入れることについて認識を伺う。</p> <p>(3)希望する学童クラブに入所できない地域には、学童クラブの新設を検討すべきであると考えているが認識を伺う。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
19	改革稲城の会	榎本 久春

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	市内公園内のベンチや東屋、トイレなど遊具以外の設備の必要性について	
	<p>現時点での稲城市の公園・緑地データでは、130カ所となっており、公園・緑地が適切に管理され恵まれた環境の中で利用することができ、市民の特性に合った公園利用がなされてきていると認識しております。公園内の遊具につきましては、今回、様々な遊具の交換や入れ替え、新設された遊具もあり、子ども達にとっては喜びや楽しみとなり、更なる公園利用に繋がるものと思います。遊具の安全管理については、一般質問させて頂き、指定管理者の職員による月例点検や専門業者による年1回の定期点検など、適切な管理を実施していることを確認させて頂きました。公園内の設備については、遊具以外にも多くの設備が配置されておりますが、ベンチや東屋、トイレなどの設備も現在の市民ニーズとしては、必要不可欠な設備となってきています。東屋については、気象状況の変化による熱中症対策として、ベンチについては、保護者や高齢者などの休憩場所として、市民の方々から設置して欲しいとの声も聞いております。市内公園内の遊具以外の設備の必要性について伺います。</p>	
	(1) 市内公園内のベンチや東屋、トイレなどの設備の必要性について、市の認識を伺います。	
	(2) 各地区別の公園数とベンチや東屋、トイレの設備の設置状況について伺います。	
	(3) 既存する公園内へ新たに設置する予定の設備について伺います。	
	(4) 公園内で水を利用した設備について伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	コロナ禍で結婚を先に延ばされてきた方々を応援する取り組みについて	
	<p>2020年の婚姻組数が、戦後最少の52万5千507組で前年比マイナスの12.3%と大幅に減少したと厚生労働省が発表しております。ブライダル事業者の調査によりますと2020年に婚姻予定だった人のうち、24.7%が延期及び取りやめを決断し、2019年と比較しますと15ポイント上昇しており、その多くはコロナ禍の影響が背景にあるものといわれております。理由としては、双方の親に挨拶ができない、結婚式ができない、自分たちの望む結婚式にならないなど、接触・移動・人数制限を強いられた、コロナ禍ならではの状況が浮き彫りになっているとみられています。また、結婚イベントの経済波及効果は婚姻1組あたり約658万円との試算になり、婚姻延期・取りやめによる経済損失額も相当程度大きいとみられています。稲城市では、新たな婚姻届特別受理証明書の発行、オリジナル婚姻届の作成とご夫婦となるお二人の門出をお祝いするなどの取り組みをされてきておりますが、コロナ禍においては結婚を先に延ばされてきている方々もおられると思います。これから結婚をする人への応援と市内に居住して頂くための支援となる取り組みについて伺います。</p>	
	(1) 過去3年間の婚姻届受理件数について伺います。	
	(2) 婚姻届を提出した際に、お祝いとして行っている具体的な取り組みについて伺います。	
	(3) 婚姻届時に祝う、更なる取り組みについて、市の考えを伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	高齢者の運転に対する事故防止について	
	<p>70歳以上の運転免許証の更新が、2017年に規定が変わり運転に対する適性がより問われる内容となりました。しかし、高齢ドライバーの事故発生の報道を耳にすることが多くなってきております。運転免許の保有者数は、19歳までの保有者数は年々減少し、令和元年にはピーク時のおよそ3分の1になる一方、70歳以上の保有者数は年々増加し、令和元年では1,195万人と昭和50年の13万人と比較すると約90倍の上昇となっています。事故を未然に防ぐ対策としまして、運転免許の自主返納が全国的に推進されてきておりますが、自動車がないと生活に不便が生じる高齢者は多く、高齢者の運転による死亡事故件数は増加傾向となっています。稲城市でも、高齢者のドライバーが年々多くなってきていると思われまますので、高齢者の運転に対する事故防止の取り組みについて伺います。</p>	
	<p>(1) 高齢者の自動車運転免許について、過去3年間の市内在住の65歳以上の免許の保有者数について伺います。</p>	
	<p>(2) 過去3年間に市内で起きた交通事故発生件数と高齢者が起こした事故件数について伺います。</p>	
	<p>(3) 高齢者の運転に対する事故防止の取り組みについて伺います。</p>	